

受付ボランティア会議

議事録

日 時：2022年 6月25日（土） 13:30～15:40

場 所：会議室 24

出席者：市原、岩崎、魚井、岡本、熊崎、小高、関戸
中小路、中永、福田、細田、小島（こむ1会）

1. こむ1会からの報告（小島さん）

- ▶ 新しい運営委員さんを推薦していただくグループが決まりました。
25名の運営委員数を検討しています。

2. 報告・連絡・その他（岡本）

(1) 予定

- ▶ 7月 1日～7月31日・・・ こむ1利用登録更新の受付
- ▶ 7月 2日(土)・・・ こむ2利用者運営委員会 総会
- ▶ 7月28日(木)・・・ ガラス清掃（こむ1全館）
 - ✓ 年1回専門業者による清掃です。
 - ✓ 年末は、1階のみさざんか福祉会による清掃があります。
- ▶ 8月 7日(日)～16日(火) 盆休み休館
 - ✓ 岡本は6日～17日休みます。土曜日、水曜日担当の方、よろしくをお願いします。
- ▶ 9月 3日(土)・・・ こむ1会 総会
- ▶ 10月 1日(土)・・・ 夕暮れコンサート（15時～）最後の夕暮れコン
- ▶ 10月19日(水)・・・こむ1会承認の3F利用（御殿山地域包括支援センター100歳体操）
 - ✓ 7月10日のこむ1会で審議されます。

(2) ボラセンの新名称・・・宝塚ボランタリープラザZUKAVO・・・7月1日～変更

(3) ボラセンが支援する未登録グループの部屋利用がこれからあります。

- ▶ まだ予定はありません。

(4) こむ1の利用登録

(a) やめたグループ

- ▶ 210朗読ボランティアカモミール ▶ 131宝塚専心会 ▶ 181宝塚ココロクラブ
- ▶ 381武庫川流域圏ネットワーク ▶ 136売布小学校区まちづくり協議会 ▶ (221星の荘P)

(b) 新規登録・・・▶ 405今をゆっくり楽しむ会「リボン」（2022/05/11）

(5) 「あるでこむ」基本設計が完成（4月）・・・P2～3

(6) 新しい「ボランティアグループ紹介」の映像を上映します。

- ▶ 「感染対策お願いのディスプレイ」と入れ替えます。（岩崎担当）

(7) 工作室前広場に新しいパラソル 3本設置しました。

- 後日追記 ▶ 通常は傘を広げたままにします。（強い風で飛ばないように固定します。）
- ▶ 傘を閉じ、紐でくくる時 → 長期休館日の時
台風等暴風になる恐れがある時

3. 協議またはお知らせ

(1) 8月 盆休み 休館日のガーデニング広場

- ▶ 休みの間、出入口を開放します。
- ▶ 注意書きの書いた立て札を設置します
- ▶ 警官の見回りを依頼する事はできません。

(2) ボラセンからの回覧

回覧の量が多く誰もみてないのではないか？止めても良いのではないかの問に対して、

- ・ 見ている人はいる。
- ・ 量が多すぎるので、ぶらざこむ1に限った内容のみにしてもらったどうか。

以上の結果

- ▶ 回覧の内容をぶらざこむ1に限ったものにできるかボラセンに問い合わせる。
 - * 問い合わせ結果、ぶらざこむ1に限ったものとなるとほとんどないと思うが一度やってみる事にする。

(3) 財団について（岡本より）

- ▶ 宝塚市社会福祉協議会へ財団の事業承継についての協議申入書を渡しました。
- ▶ 理 由
 - ・ 岡本も受ボラも年齢が高くなり、このまま続けて行くのは難しい。
 - ・ きっかけは年齢であるが、財団の小規模は組織よりも実績の豊富な社協の方が財団の施設を有効に活用できると判断した。
- ▶ 承継の内容
 - ・ これから協議を始めるので、内容は全く決まっていない。
 - ・ 財団は消滅する。
- ▶ 承継の時期：決まってないが、「あるでこむ」の建設完了2024年ぐらいか。
- ▶ 承継後の受付ボランティア
 - 承継内容が決まってないので承継後の受付業務がどうなるか決まってないが、現在の受付ボランティアはなくなると考えるのが妥当である。
 - * 承継後の受付ボランティアについて話し合いがされました。
 - ✓ 受付ボランティアが集まる場所があったら良い。
 - ✓ 岡本としても社協やその他の施設に関わる事はないし、受ボラとの繋がりは大事にしたいのいで、何かあると良いと思っている。
 - ✓ これから検討して行きましょう。

(4) 感染対策の見直し・・・P4

新型コロナ感染症が猛威を振るい始めて2年余り経過し、社会生活の中でのソーシャルディスタンスの励行やワクチンの接種も進んだことで最近では新規感染者も大幅に減少しています。一方、国はこの間に大きな痛手を受けた国民生活の回復を目指すために外国からの旅行者の入国を大幅に緩和するなどの対策に取り組んでおります。

2年余りの新型コロナ感染症下でのデータや知見の蓄積に基づいて社会生活と経済活動との両立は可能であるという専門家の意見を踏まえ、国はこの度新たに公共の場での対策と守るべき方針を発表しました。

この度の県の方針に基づき、ぷらざこむ1内でもこれまでの対策を緩和することにしました。

- ▶ 感染対策の方法については責任を持っている財団が決定しています。
- ▶ 7月10日のこむ1会運営委員会で報告し、その後に実施します。

見直し

場所		今まで	見直し
玄関（入館時）	・手指消毒	・常に	・同左
	・サーマルカメラ	・玄関設置	・同左
受付	・体温管理表	・記入	・ 管理表なし
	・利用者に渡すもの	・参加者名簿 ・チェックシート ・アルコール ・ペーパータオル	・ 名簿なし ・チェックシート ・アルコール ・ペーパータオル
館内(会議室含む)	・マスクの着用	・常に	以下の時必ず着用 ・ 会話する時 又は ・ 人との距離が短い時
	・人との距離（1m）	・確保	・同左
	・換気	・換気扇・扉・窓	・同左
	・使用後のテーブル	・消毒	・同左
会議室等	・定員	・必ず守る	・ やむなく定員オーバーの時は人との距離を確保
	・イス机	・1机に2人	・同左
	・使用後のテーブル	・消毒	・同左
自販機前スペース	・机上パーテーション	・有	・同左
1F活動スペース		・有	・なし
	・自動扉(活S2↔テラス)	・外からは入れない	・通常の出入りが可